| 番　　号 | 17-13 | 県　別 | 広島 | 実施団体等 | 庄原観光協会 | 代表者 | 塩本　誠二 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 事 業 名 | 公園（のある、のような、と一体となった、を活かす、結ぶ）道路活用事業 | | | 実施場所 | 庄原市地内（中心市街地～国営備北丘陵公園） | | |
| 事業目的 | 国営備北丘陵公園の「北入口センターエリア」及び「みのりの里」の整備が平成 15 年度に着手され、平成 19 年度には供用開始される計画である。市街地に近い北入口の開設により、当公園と市街地との結びつきは、より深まることが期待される。公園北入口と市街地を結ぶ道路を活かした、地域住民参加型のソフト事業等を展開することにより、公園来園者の市街地への誘導はもとより、地域住民自らが「庄原の良さを再考」し「新たな魅力づくり」に関わり、「ホスピタリティ（もてなしの意識）」を醸成し、交流する個性ある観光のまちづくりをめざすものである。平成 15 年度からの 5 年間の計画に基づき、平成 17 年度は、継続事業を基礎として公園道路事業に向けての新たな方向性を探り、実施提案を推進する。 | | | | | | |
| 事業概要 | ①四季の植栽　フラワー通り植栽美化運動（市道末納・上野線）　②「市民ガーデニングスポット」としての活用　③マイイルミネーションコンテスト（市民参加型イルミネーション）　④野外コンサートメモリアルストリート（手形展示実験）　⑤しようばら夢ほたるによる、都市公園「庄原上野公園ライトアップ」の実施　⑥イルミネーションバスの運行（市街地と丘陵公園を結ぶルートづくりを目指して）　⑦上野公園さくらプロジェクト（さくら守隊結成準備）　⑧庄原市への来街者に対する「ホスピタリティ」の醸成。　⑨定期的な会議の開催 | | | | | | |
| 事業効果 | 国営備北丘陵公園と市街地そして上野公園を結ぶハード（道路）のソフト化に向け、メモリアルプレート（陶板手形）設置の具体化計画に光が見えてきたことは成果があった。今後の事業推進に必要と思われる市民のホスピタリティ意識の向上を図るため、観光ボランティアガイドの育成や、次年度実施予定の「さくら守隊」結成など、今後の事業拡大への基盤ができつつある。 | | | | | | |
| 活動状況 | | | | | | | |
| 特記事項 | | | | | | | |